



かがやく麻生中!

令和7年11月28日発行 第43号
 行方市立麻生中学校
 住所:行方市南327-3
 電話:0299-80-8070

自分の思いや考えを表現し課題解決しようとする(語り場 学び場 麻生中)

～「令和7年度 行方市郷土と社会を切り拓く課題解決型学習プログラム」校内報告会の実施～

行方市教育委員会主催の本事業の目的は「児童生徒が郷土や社会と主体的に関わりながら、よりよい自分の生き方を考え、資質・能力の育成を図ること」です。本校では、3年生を対象に総合的な学習の時間を活用し行方市のよさや課題などについて学習しています。本報告会は、行方市の未来のために何ができるか、自分には何ができるか、どうすべきか、現在や将来にどうつなげるかなど、当事者意識をもちながら実施しました。生徒は、発表用スライドを大型モニターに写しながら発表することができました。本報告会において秀逸な発表については、12月19日(金)行方市内小中学校をオンラインでつなぎ、完結発表会において代表として発表をする予定です。



～令和8年度前期生徒会役員選挙に向けて～

11月26日(水)に選挙管理委員会の生徒が立候補者を対象にオリエンテーションを実施しました。立候補した生徒は1・2年生合わせて14名でした。選挙管理委員の生徒は立候補した生徒に対して、自己紹介動画やポスター作成についての説明を行いました。また、12月8日(月)の討論会に向けた協議を行いました。「学校をよりよくしたい、生徒の生徒による生徒のための活動をしてみたい」と思い チャレンジし立候補した生徒に敬意を表します。
 頑張れ立候補生徒 ファイト立候補生徒



～麻生中学校教職員の資質・能力向上、授業の工夫改善に向けた「第3回校内研究授業並びに研究協議会」の実施～



11月26日(水)に茨城大学から講師をお迎えし、校内研究授業と研究協議を実施しました。研究授業では、2年1組が技術科、2年2組が社会科の授業を公開しました。2年1組では、「使用者のことを考えたコンテンツを制作するためにはどのような工夫をすればよいか」という学習課題の解決に向けて、タブレットや多様なツールを活用したり、ペアやグループで意見交流をしたりし、よりよい工夫の在り方について、究明していました。社会科では、首都直下型地震の与える影響や地震への対策について、「交通網 首都機能 人的被害 一局集中 リスク分散 防災減災 等」を視点にグループで意見交流しながら課題解決を図りました。2学年生徒は、課題を的確に把握し、課題解決のためのツールを自己選択し、共有しながらよりよく表現し課題解決を図っていました。本校の教育・組織目標である「自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決を図る」ことの実現に向けて、生徒は学習に取り組むことができました。

令和8年度は麻生中学校において行方市学力向上事業のためのモデル授業公開が予定されています。生徒の資質能力の育成に向けて、更なる学習指導の工夫改善、授業力の向上を図ってまいります。

